

目 次

I. 総括研究報告	
乳幼児期に重篤な視覚障害をきたす難病の診療体制の確立-----	3
仁科 幸子	
(資料) 全国実態調査 (1 依頼状、2 調査票)	
II. 分担研究報告	
1. 先天性遺伝性網膜疾患の診断法に関する研究-----	12
寺崎 浩子	
2. 難治性小児眼疾患症例の遺伝学的診断に関する研究-----	15
堀田 喜裕	
3. 支援体制の全国ネットワーク、日本ロービジョン学会への連携、 視神経・中枢の評価、新規治療法に関する研究 -----	18
不二門 尚	
4. 家族性滲出性硝子体網膜症の網膜剥離に関する研究 -----	21
東 範行	
5. 乳幼児期に重篤な視力障害をきたす難病・全身疾患の抽出と全国調査--	24
永井 章	
(資料) 視覚指定難病の対象疾患	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表 -----	26